

2025年6月2日

各位

会社名 松尾電機株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 陳 怡光
(コード番号 6969 東証スタンダード)
問合せ先 経営・調達企画部長 加藤 功一
(TEL 06-6332-0871)

上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）について

当社は、2025年3月時点において、当社株式の流通株式時価総額が、東京証券取引所スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況、計画期間

当社の2025年3月31日時点における東京証券取引所スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は下表のとおりとなっております。当社の事業年度の末日以前3か月間の日々の最終株価の平均値が489.89円となり、その結果、流通株式時価総額が上場維持基準の10億円に対し479,526円不足し上場維持基準に適合しておりません。

当社は、今回不適合となった流通株式時価総額を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組みを進めてまいります。

なお、万が一、流通株式時価総額基準について、2026年3月31日までの改善期間内に基準に適合しない場合には、6か月間の監理銘柄又は整理銘柄指定期間を経て、2026年10月1日に当社株式は上場廃止となる見込みです。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況	2025年3月末時点	2,064人	20,402単位	999,520,474円	63.5%
上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25.0%
計画期間		—	—	2026年3月末まで	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 当社の直近2年間の業績及び2026年3月期の業績予想

(単位：百万円)

期別	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2024年3月期実績	4,209	254	220	28
2025年3月期実績	4,545	491	460	449
2026年3月期予想	5,000	620	590	550

3. 上場維持基準への適合に向けた取組みの基本方針

当社としましては、次項のとおり経営目標を達成することにより収益力の向上と経営基盤の安定化に努め、東京証券取引所における上場を維持してまいりたいと考えております。

4. 上場維持基準への適合に向けた課題と取組み内容

(1) 課題

当社は、当該期間の株価の水準が上場維持に十分ではなかったと認識し、そのためには、業績向上のための経営目標の達成が最重要課題と認識しております。

(2) 取組み内容

当社は、「企業の存在を許容するのは、お客様である」ことを原点に、タンタルコンデンサ、回路保護素子及びフィルムコンデンサを製造し、主にカーエレクトロニクス分野・電気計測器・医療機器・リチウムイオン電池向け機器に販売することを事業としております。

当社の中期的な会社の経営戦略及び2026年3月期の年度経営計画は次のとおりです。

1. 中期的な会社の経営戦略

当社は、2024年1月16日に東京証券取引所において「中期経営計画（2025年3月期から2027年3月期まで）の策定に関するお知らせ」を公表し、当該中期経営計画は、10年後に売上高100億円達成を目指すための基盤固めと位置づけます。

中期経営計画は、更なる成長の追求のために収益基盤の強化及び経営基盤の安定化を図ることを課題とし、その基本方針は下記のとおりです。

- ① 回路保護素子事業は、自動車の電子化対応需要拡大に応じて、車載用製品の販売網を拡大し、売上高及び利益の増加を図る。
- ② タンタルコンデンサ事業は、導電性高分子タンタルコンデンサの新製品の開発等により、車載用及び海外市場の民生用向けの売上高及び利益を確保する。
- ③ 中期経営計画期間中に株主への復配を目指す。
- ④ ESGに対する取り組みを維持し促進する。

中期経営計画最終年度の業績目標は下表のとおりです。

指標	2027年3月期目標
営業利益	800百万円
売上高営業利益率	13%
売上高	6,000百万円
ROE（自己資本利益率）	12%

2. 2026年3月期の年度経営計画

2026年3月期は上記の中期経営計画の2年目となります。

なお、2025年4月に発表された米国の相互関税による当社への影響は現時点では不明確ですが、2026年3月期の目標達成に向けて下記の課題に着実に取り組んでまいります。

1. 2026年3月期の売上高50億円、営業利益6.2億円の達成
 - ① 売上高は、製品セグメント別に数値目標を定める。
 - ・回路保護素子の海外市場、車載市場への拡販を行う。
 - ・導電性高分子タンタルコンデンサの拡販を行う。
 - ② チップタンタルコンデンサ及び回路保護素子の生産高比製造原価率を2025年3月期比6%低減する。
 - ・外観検査自動化等による工数低減
 - ・光熱費の削減
 - ・収率改善による材料費低減
 - ・タンタルパウダーの調達価格抑制
 - ③ 販売費及び一般管理費は、売上高の20.3%以内とする。
2. 不採算のため生産中止を決定した品種のEOL対応の過程を確実に実行する。
3. 新製品開発の推進と量産
 - ・車載向け回路保護素子の新製品開発
 - ・AEC-Q200対応の導電性高分子タンタルコンデンサの新製品開発
4. 品質目標は、個別に定めた目標を達成する。
5. 車載向け欧米市場への拡販に向け、海外認証の品質規格VDA6.3を取得する。
6. 既存の人材活用及び新規の人材採用を通じて社内組織の活性化を目指す。なお、採用においては国際化に対応できる人材を雇用する。
7. ESGに対する取り組みを維持し促進する。

以上